

県立常北高等学校学校関係者評価表

評価項目	評価	評価者からの意見
1. 本年度の重点目標の達成状況について	A 十分達成している ----- <input checked="" type="radio"/> B どちらかといえば達成している ----- C どちらかといえば達成していない ----- D 達成していない	<ul style="list-style-type: none"> 重点目標2～5については、学校の総力を上げた取組によってほぼ達成されている。重点目標1については、生徒の学力の実態に即したわかりやすい授業の展開について、もう一步の改善工夫が必要である。 重点目標1-②, 2-④, 5-⑩で特に成果が実感できる。 学校公開により、本校のよさを実感することができた。 学校関係者が一丸となって生徒と学校を良くするための熱意が感じ取れる。先生達の熱心さが伝わる。
2. 学校の自己評価表の具体的目標及び具体的方策の達成状況について	A 十分達成している ----- <input checked="" type="radio"/> B どちらかといえば達成している ----- C どちらかといえば達成していない ----- D 達成していない	<ul style="list-style-type: none"> 各教科で、分かりやすく、体験活動を取り入れた授業が行われている。 授業への取組が真剣で発言も活発であった。
3. 次年度への主な課題の把握について	<input checked="" type="radio"/> A 十分把握している ----- B どちらかといえば把握している ----- C どちらかといえば把握していない ----- D 把握していない	<ul style="list-style-type: none"> 校外での容姿、町外から通う生徒の行動に一部問題がある。
4. 改善方策の策定について	<input checked="" type="radio"/> A 策定できている ----- B どちらかといえば策定できている ----- C どちらかといえば策定できていない ----- D 策定できていない	<ul style="list-style-type: none"> 1年生の部活動必修化は学校の活性化にとって必要である。 インターンシップ・体験活動を活発にすることが大切である。 将来の夢や希望を実現させるため、進路指導の工夫・改善が必要である。 生徒に学ぶ喜びを実感させ、基礎学力の定着につなげる実践が大切である。
5. その他（各学校の状況に応じて設定）	A ----- B ----- C ----- D	

※ 「学校関係者評価」は、学校の自己評価結果をふまえて行うこととします。学校関係者評価における評価者とは、各学校の生徒の保護者や、各学校の教職員を除いた学校と直接の関係のある者及び大学教員等の学校と直接の関係を有しない有識者とし、学校評議員も評価者に含まれます。